

総務、産業、建設常任委員会記録

招 集 年 月 日	令和2年11月19日（木）
招 集 の 場 所	議員控室
開 会	午後1時22分
出 席 者	委員長 鈴木 宏通 副委員長 山岸 三男 委員 吉田 眞悦 委員 佐野 善弘 委員 前原 吉宏 委員 櫻井 功紀 委員 千葉 一男
欠 席 者	
職務のため出席した者の職氏名	議会事務局主事 高橋 秀彰
協 議 事 項	・ 公共施設マネジメントについて
そ の 他	
閉 会	午後2時31分

2号様式 協議の経過

鈴木委員長	皆さんお揃いですので、若干早いですが、始めたいと思います。 第12回総務、産業、建設常任委員会をこれから始めたいと思います。着座にて進めたいと思います。 本日、委員全員出席でございますので、委員会は成立しております。 本日、第12回になりますけれども、先月行われました議会懇談会におきましての当常任委員会へのいろいろな質疑等の記録を合同会議によってまとめたものを皆さんのお手元にお渡ししております。 この議会懇談会の資料をもとに私たちの提言が可能かどうか、またいろいろ参考になる部分を拾い上げながら今後に生かしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いを申し上げます。 一応18項目ありますので、暫時休憩いたします。
	休憩 午後1時23分 再開 午後1時28分
鈴木委員長	再開いたします。 皆様に議会懇談会における質問等の一覧、当委員会に係る部分18項目。質問が6件、意見要望として12件。合同会議でまとめたものでございます。その中で我が委員会として取り上げる部分、考えていく部分を皆様より懇談会で言われてきたことをいろいろ協議していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。 では、休憩いたします。
	休憩 午後1時29分 再開 午後1時47分
鈴木委員長	再開します。 10月に行われました議会懇談会において18の質疑及び意見要望が当委員会に関わる施策の報告に關していろいろありました。 その中で公共施設等総合管理計画の推進体制はどういうところなのか。または、40年間の累計更新費の608億円の中学校の部分はどういうふうになっているのかというようにいろいろな細かい質問に対して私たちもなかなか答弁に苦慮するようなどころも多々あったというようなことで、細部における私たちの協議がなかなか進んでいなかったというところを特に反省としてございます。 今後私たちの政策提言に向ける部分で、今回行われた質問等の内容に関してはなかなか前向きな建設的なところがあまりなく、参考とすべき部分はないという方向性を考えていたいと思っておりますが、これでよろしいですか。 はい、吉田委員
吉田委員	確かに新たな発想というか、町民の皆さんからの将来を考えた場合のということになってくると、確かにないというよりも非常に少なかったということの結果なんだろうけども、ただこの2ページ目の10番も公共施設を半分に減らしてとそういう御意見を持っている人とか、14番もそうでしょう。それぞれの計画に基づいてトータルコストの削減の検討をしてほしいと。

	あとは最後の 18 番も施設の縮小というかコストを下げるべきだというような意見もあるんだから。だからやはりこういうところはマイナス的な要因ということではなくて、こういうような町民の意見もあるということを受け止めて、今後の提案はどのようになるかはまた別としてだよ、やはりこういう思いというのも中に加味するというのも 1 つというかそのほうがいいんでないのかなと思うんだけどさ。 このとおりの言葉でなくてもね。もちろん我々の考えていることにもそういう、もちろん町もだけど、施設の削減というのは当然うたっているからだけさ。
鈴木委員長	わかりました。 今の御意見を大きく参考にさせていただいて、今言われたとおり、もちろん前向きな御意見もこのとおりいただいておりますし、いろいろ統廃合を進めるべき、または半分減らしてもいいという御意見をいただいている。14 番の方もトータルコスト削減の検討をしていただきたいというような要望をいただきました。 我々個人にとってもこういうことはもちろん住民の方々の後押しととらえて私たちの政策提言にいろいろと考えていかなくてはいけない部分、付け加えていかなくてはいけない部分だということを考えますけれども。 もしあとその他で何かこれはということはありませんか。
吉田委員	あくまで長期的な観点でだからさ。ここ 2 年、3 年の話ではないから。
鈴木委員長	来年どうするという問題ではないですから。はい。 はい、千葉委員。
千葉委員	基本的には財政を心配して、財政それぞれについて角度は違うけれども心配していますよね。 ということは、財政計画をずっとつくっていますよね。財政計画で考えるものに対してどういうふうに我々が勉強していくか。 それともう 1 つは 28 年にできた公共施設の計画がありますよね。その後から 30 年には公営住宅の計画がつくられている。学校の計画もつくられている。31 年にはコミュニティ施設の計画がつくられている。 ということは、公共施設の中の一部をこういうふうにしたった 2、3 年の間にみんなつくられているということは、これと、これをまとめている公共施設の大きなものがある。これとの関わりをやっぱり一緒に考えていかないとすごく部分的なものになっちゃうんじゃないかと。 基本的には単年度でものを見て整理していかなくてはならないという大きな問題があるわけね。それをうまく考えながら、これらの関係と我々が取り組むやつとの関わり。あるいは取り組み方というのをやっぱり無視はできないんじゃないかなということは今を感じている。 当然いろいろと個別にはあるけども、1 つは財政の問題。もう 1 つはそのために公共施設をどう扱うかという観点で見た場合には、公共施設全体の中のコミュニティであるとか公営住宅であるとか学校、こういう計画があとからできているわけですよ。するとこの辺の違いとか齟齬があるかどうかなん

	て私たちにはわからないのね。 そこも一応視点の1つとしては持たないとなかなか難しいなというのがある、自治体には。提案も僕はできないし、どうするというのも言えないけれども、それができなければ話ができないんでないかなというのが今回私が感じた、報告会とは直接関係ないけど。そしてそれは両方とも考えなくてはならないんでないかと思うんです。 難しいんだけどさ。絞んなくてはならないんだよ、どこかで。
鈴木委員長	はい。なかなか……。いろいろなテーマ、かなり……。
櫻井委員	うん、広いのさ。公共施設って言ったらね。
鈴木委員長	大きいですからね。
櫻井委員	町営住宅もあるし、学校もあるし、コミュニティもあるしさ。それぞれの長寿命化計画を立てているんだよ。学校は学校。コミュニティはコミュニティ。
千葉委員	それぞれのお金がどうなっているんだという結論はある。まとめると。あの人たちが言っているように。そういうことだよ。
鈴木委員長	まあ、発表になった 55 億円という新中学校の建設費用もこの 608 億円の中に入っているか。 実際そういったことを踏まえていろいろな考え方があるだろうと。 では、休憩します。
	休憩 午後 1 時 5 5 分 再開 午後 2 時 2 7 分
鈴木委員長	再開します。 今後の総合計画、この公共施設等総合管理計画、町の財政健全化計画、または起債、これが今のコロナ禍の状況でどのように変化していくか、いろいろと情報を皆様とおつなぎをしながら考えたいと思いますので、少し時間をいただきながら担当課といろいろ話をしてみたいと思います。 本日の協議は以上なんですが、次の会議を議会前に行いたいなとは思っていたんですが、12 月の最初の週で金曜日は何か入っていますか。（「今は何も入っていないですね」の声あり） では、一応 12 月議会前に今いろいろと言われた部分を担当課といろいろ話をしますし、そういうところも報告ができればおつなぎをしたい。また、仮に、今度全協で説明を受けるところが総合計画にはありますので、それを踏まえていろいろと検討を加えたいと思いますが。 12 月 4 日 9 時半でよろしいですか。（「はい」の声あり） ということで、次回まで今いただいた宿題をこなしてみたいと思います。もし今後こういうことはどうだという部分がありましたら、いろいろと助言をいただきたいと思うんですが。よろしいですか。（「はい」の声あり） 今後そういう話をいろいろ入れながら、中間報告に向けて可能な限りまとめをしていきたいと考えますので、皆様の御協力及び御助言をいただきたいと考えます。 では、本日は以上としますが、よろしいでしょうか。

	では、副委員長お願いします。
山岸副委員長	大変御苦労さまでした。 今日は、午前中は表彰式、午後は常任委員会。大変忙しい中御苦労さまでした。 常任委員会の公共施設マネジメント、今日はいろいろ悩ましいところもありますけれども、委員会としても相応の協議はしておりますから、ぜひ前向きに結論と言いますか、答えあるいは考え方をしっかりと示し、提案できるような方向にもっていきたいとそんなふうに思っております。 今日は大変皆さん御苦労さまでした。
	閉会

会議の経過を記載して相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和2年11月19日

総務、産業、建設常任委員会

委員長